



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

# しらこぼと

## 2018.12

No. 417

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O

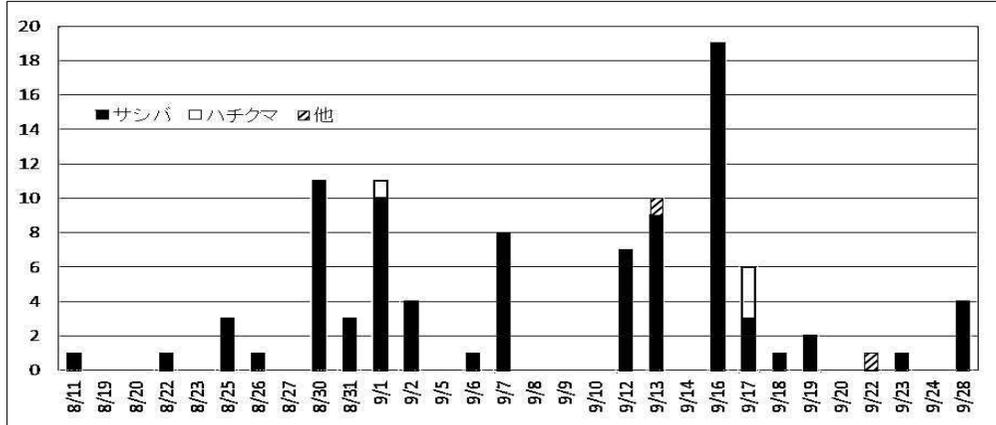




はサシバ583羽(14カ所)、ハチクマ84羽(中間平、皇鈴山など5カ所)、ノスリ7羽(中間平)、ハイタカ2羽(中間平)、ツミ7羽(蓮田市黒浜1、中間平6)、チゴハヤブサ4羽(中間平2、皇鈴山1、天覧山1)、ハヤブサ1羽(鴻巣市大間)でした。

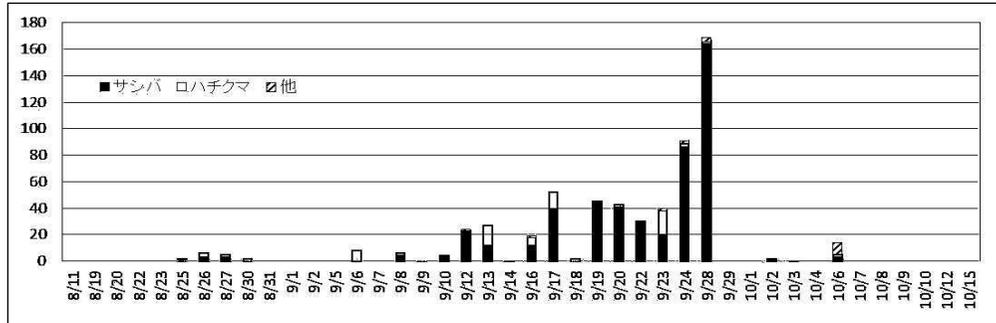
今年の特徴はハチクマが多かったことで、昨年の39羽の約2倍の個体数が記録されました。一方、サシバは昨年に比べて少なく、昨年の個体数の約75%にとどまりました。

★ 県南東部から県央部 図1のA： 杉戸町、蓮田市、さいたま市、川口市、鴻巣市、北本市



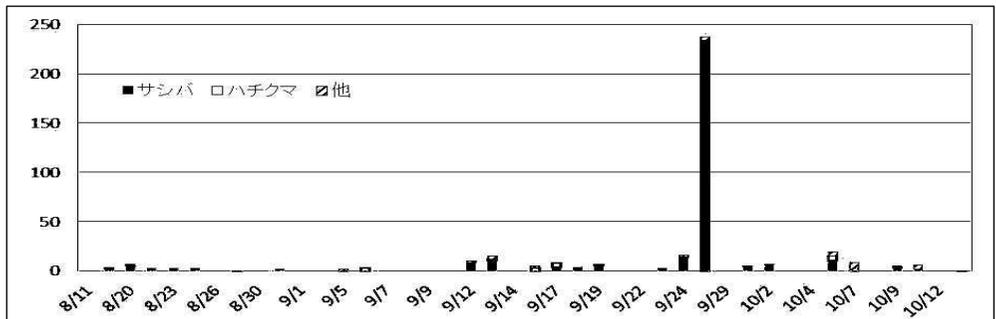
8月11日、さいたま市西区西新井で観察されたサシバ1羽が最も早い記録でした。1日に10羽以上が観察された日が観察期間中に4日ありました。9月16日にはさいたま市緑区三室でサシバ10羽、同市西区秋葉の森でサシバ7羽が観察されました。全体的に見ると、はっきりしたピークが見られませんが、8月後半から九月初めに第1波が、9月中旬に第2波があるように見えます。数年前、蓮田市だけで観察していた時代には、こうしたパターンは見られませんでした。

★ 県北西部 図1のB： 中間平、皇鈴山(みすずやま)、糠掃峠(ぬかぼきとうげ)



8月中旬にサシバ、ハチクマの小さな動きが、おもに皇鈴山で観察されました。渡りが本格化したのは9月中旬になってからでした。ピークは例年よりも遅く9月28日(中間平)でした。

★ 天覧山 図1のC



9月に入っても動きが少ない状態が続きました。調査部主催の調査結果にも記しましたが、渡らない個体が多かったようです。渡りに適した安定した気象条件が出来なかったものと思われれます。ピークは9月28日の234羽。この1日にすべての渡りが集中したようです。9月後半から10月にかけて、ノスリの渡りが見られました。

### ● 中間平(寄居町)における継続調査の状況 (小川町 千島康幸)

今年は8月25日から10月6日まで27日間観察を行い、サシバ482羽、ハチクマ48羽の渡りを観察しました。昨年は40日間行い、サシバ374羽、ハチクマ44羽でした。雨の日が多く観察日が大幅に減少しましたが、サシバは前年比1.29、ハチクマは1.09と増加しました。サシバの渡りが一番多かった日は、28日164羽で天候の影響から昨年より9日遅れました。ハチクマは17日9羽で昨年18日8羽と、1日違いだったことから天候の影響は少ないようです。

昨年から渡りルートが赤城山方向から飛来するより、栃木県方向から飛来し中間平から1~4km南東側の金勝山、官ノ倉山、臼入山方向を渡るものが多い印象でした。今年はサシバの58%が栃木県方向からでした。渡りルートが変わってきているようです。各地のサシバの渡り数の前年比は、白樺峠1.16、天覧山0.83、青梅市梅の公園0.85、野田市0.82でした。南側を渡るサシバが減少したようです。サシバ、ハチクマ以外に、ミサゴ、オオタカ、ハイタカ、ツミ、ノスリ、トビ、クマタカ、ハヤブサ、チゴハヤブサが観察できました。

今年、中間平から南へ約3.2kmに観察地点が見つかりました。皇鈴山(みすずやま、山頂標高679m)です。西側(秩父側)は林で見えませんが、東向きでは北から南まで180度の視界があります。サシバ176羽、ハチクマ107羽の渡りが観察できました。赤城山方向から渡るサシバ、ハチクマの多くは中間平から釜伏峠を越え秩父側に流れていることから、皇鈴山で多くのハチクマが観察されたのは、栃木県方向から、中間平から見えない南東側を渡ってきていると考えられます。

<謝辞>天覧山のデータは「天覧山タカ渡り観察グループ」代表・市川和男氏のご厚意により使用させていただきました。中間平のデータは石松康幸氏、中村博文氏が行った調査結果も使用させていただきました。ホームページには以下の皆様にご投稿いただきました。<五十音順、敬称略 浅見 徹、井上幹男、今村富士子、海老原美夫、榎本秀和、小林みどり、佐野和宏、嶋田富夫、田中幸男、千島康幸、手塚正義>。調査にご協力くださった皆様に、心より御礼申し上げます。(調査部:小林みどり・IT委員会:佐野和宏)

### ミヤマガラスの動向が気になる 山部直喜(三郷市)

今季、私の初認は10月26日だった。場所は越谷市増林の稲刈りの終わった田、30羽を超えるハシボソガラスに混じって若い個体1羽が採餌していた。しかし、鳥友の話では中旬には県北に現れていたらしい。

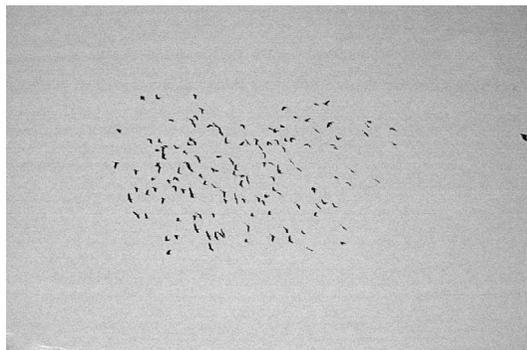
ミヤマガラスはその飛び方が特徴的だ。写真のように塊の大集団で飛んで来る。決して、『枕草子』の「からすの寝どころへ行くのとて、三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさへあはれなり」ではない。

越谷市の久伊豆神社では秋冬にカラスの罫が形成される。そこにミヤマガラスが入るようになったのは2012年からで、その増え方は著しく、近年は1,000羽を

超えているという※。今年の11月1日、すでに神社の上空で300羽前後の群れが少なくとも2群れ、飛び交っていた。

さて、今年は何れほどの数が記録できるんだろう、楽しみである。

※カラスの集団罫の個体数調査報告(第1回~第14回)





## 野鳥情報

**さいたま市見沼区片柳1丁目** ◇8月2日、電線にコムクドリ♂1羽♀4羽、全て若鳥のようだった。8月6日、電線にズラッと約20羽のコムクドリがとまる。9月4日、スズメ約30羽の群れを襲うスマートなタカかと思ったら、逆にモビングされているカッコウの仲間だった。運転中の車中から観察。9月5日、栗の木で毛虫？を採餌するコムクドリ約30羽の群れ。♂はほとんどすべて若鳥らしかった（鈴木紀雄）。

**羽生市砂山** ◇8月5日、休耕田でコチドリ25羽、クサシギ3羽、セグロセキレイ、ハクセキレイ、アマサギなど（鈴木紀雄）。

**越谷市中島** ◇8月10日午前9時20分、このサギのコロニー（コサギ、チュウサギ、ダイサギ、アマサギ、ゴイサギ、アオサギ）も巣立ちが盛んで、一時期よりは全体の数が半分ほどに減っている。その中でチュウサギ数つがいが孵化間もないヒナを育てていた。9月12日午前10時頃、コロニーにはダイサギ2羽、チュウサギ6羽。9月20日午前9時頃、サギの姿を認めず（山部直喜）。

**さいたま市見沼区膝子** ◇9月4日、運転中の車中よりヒメアマツバメ3羽の飛翔を見る（鈴木紀雄）。

**川越市伊佐沼** ◇9月12日、セイタカシギ12羽、サギ類5種など（鈴木紀雄）。

**川越市久下戸** ◇9月12日、通称南古谷の休耕田でトウネン2羽、タカブシギ2羽、コチドリ、チョウゲンボウなど（鈴木紀雄）。

**さいたま市岩槻区鹿室** ◇9月12日、県道脇の電線にコムクドリ50羽（鈴木紀雄）。

**さいたま市岩槻区岩槻文化公園** ◇9月12日、カッコウの仲間1羽の飛翔、種はわからず。9月22日、エゾビタキ4羽、尾のないキビタキ♀1羽、上空をノスリ1羽が帆翔、他にタカ類不明種2羽。9月24日、エゾビタキ2羽、ツツドリが毛虫を食べ、それを別のカッコウの仲間が追い立てた。9月30日、台風24号が近づく小雨の中、あちこちにエ

ゾビタキ。全体で20羽位いそう。ミズキの実にもコサメビタキとともに何羽もいる。カッコウの仲間も出現。「グルル…」とキビタキの声。10月7日、エゾビタキ3羽。おそらくメボソムシクイと思われるムシクイ類1羽（鈴木紀雄）。

**さいたま市浦和区木崎3丁目** ◇9月19日、見沼代用水斜面林の1本のミズキの実にコサメビタキ4羽、エゾビタキ3羽、キビタキ♂1羽♀1羽、コムクドリ6羽がにぎやか。シジュウカラ、メジロ、ハシボソガラスもやって来た。9月26日、ガラス窓に衝突したらしく、落鳥してしまったキビタキ♀1羽。10月2日、ミズキの実を採餌するエゾビタキ2羽、キビタキ♂1羽。10月3日、上空高く西へ飛ぶカケス3羽（鈴木紀雄）。

**さいたま市岩槻区慈恩寺親水公園** ◇9月23日午後2時頃、沼の上空をカッコウの仲間が飛ぶ（藤原寛治）。

**久喜市菖蒲町下栢間** ◇9月28日午前6時45分、元荒川大御堂橋下流岸でカッコウ1羽、気温13度、雨上がりで濃霧の朝、青虫を捕食する（小貫正徳）。

**さいたま市見沼区上山口新田付近(53396572)** ◇9月28日、オシドリ♂エクリプス1羽が芝川にいた。この時季にここでオシドリを見るのは初めて。他に、シジュウカラ、スズメ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、モズ4羽、オナガ1羽＋、メジロ1羽、ダイサギ1羽、チュウサギ1羽、コサギ2羽、ヒバリ2羽、ハクセキレイ1羽、ホオジロ3羽、カルガモ1羽、ムクドリ、キジバト、オオタカ1羽、カワウ1羽（森本國夫）。

**蓮田市黒浜沼** ◇9月30日、カルガモ13羽、コガモ7羽、カイツブリ7羽、バン2羽。遠くから「チョーチョーチョー」とアオアシシギの声。ヨシ原から「クィクィクィ…」とアリスイの声も（鈴木紀雄）。

### 表紙の写真

#### チドリ目チドリ科タゲリ属タゲリ

昨年末、無人の野球グラウンドで、仲良く喧嘩していた。 蟹瀬武男（さいたま市）



## 行事案内



アオジ (編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

**参加費：**中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

**持ち物：**健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

**解散時刻：**特に記載のない場合、正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。実際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

### 所沢市・狭山湖探鳥会

期日：12月1日(土)

集合：午前9時30分、西武狭山湖線 西武球場前駅前。

担当：石光、小林(ま)、佐藤(久)、鈴木(秀)、長谷部、水谷、持丸

見どころ：今回からリーダー陣が補強されました。カイツブリ類、カモ類をしっかり観察されたい方、是非ご参加ください。

### 加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月1日(土)

集合：午前8時10分、東武日光線 柳生駅前。  
または午前8時30分、中央エントランス 駐車場。

交通：東武線 新越谷 7:19→春日部 7:36→南栗橋で新栃木行きに乗り換え柳生 8:07 着。  
または JR 宇都宮線 大宮 7:03→栗橋 7:38 着、東武線 新栃木行き 7:57 発に乗り換え柳生 8:07 着。

解散：正午ごろ、谷中村史跡ゾーン。

担当：佐野、入山、植平、佐藤(宏)、進士、野口、山田

見どころ：冬鳥が出揃うころ。ベニマシコやオオジュリンに期待です。谷中湖ではカモやカイツブリを探します。

### 埼玉 Young 探鳥会 狭山市・入間川

期日：12月1日(土)

集合：午前9時30分、西武新宿線 狭山市駅

西口。

解散：昼食後、午後1時30分ごろ、稲荷山公園。

担当：島崎、石塚(敬)、石塚(真)、廣田、村上(将)

見どころ：Young 探鳥会は若者、お子様連れなどをメインターゲットにした探鳥会です。入間川のアイドル(?) イカルチドリをはじめとした河原の鳥、ジョウビタキ、カシラダカなどの冬鳥を探します。稲荷山公園でのビンズイやイカルにも期待!

その他：『BIRDER』誌の取材あり、双眼鏡の貸し出しもあります(台数限りあり)。

### 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月2日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター 玄関前広場。

交通：JR 高崎線 北本駅西口から、北里大学メディカルセンター行きバス 8:36 発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大坂、大畑、岡安、近藤、柴田、千葉、飛田、内藤、永野、村上(正)、吉原(早)

見どころ：毎年来てくれるルリビタキとジョウビタキ。今年は早タイプ? それとも成熟した♂タイプ? 両方とも居てくれることを願って、林の縁や湿原で鳥を探します。ベニマシコ、カシラダカ、アオジにも期待。池ではカワセミもね。

## さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：12月2日（日）

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園  
駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅東口①番バス乗り場から、東  
川口駅北口行き 8:37 発で「念仏橋」下車。

担当：須崎、大井、伊藤、高崎、手塚、野口、  
藤田、若林

見どころ：いよいよ芝川第一調節池のハイシ  
ーズンになります。一昨年は 49 種、昨  
年は 44 種も観察できました。調節池を 1 周  
してカモ類・猛禽類を中心に観察します。  
ご注意：①コースの途中にトイレはありません。  
②強風等天候によってはコースを変更  
します。

## 加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月6日（木）平日

集合：午前8時10分、東武日光線 柳生駅前。  
または午前8時30分、中央エントランス  
駐車場。

交通：東武線 新越谷 7:19→春日部 7:36→南  
栗橋で新栃木行きに乗り換え柳生 8:07 着。  
または JR 宇都宮線 大宮 7:03→栗橋 7:38  
着、東武線新栃木行き 7:57 発に乗り換え  
柳生 8:07 着。

解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーン。

担当：小林(み)、植平、大坂、楠見、田中、  
菱沼(洋)、藤澤、吉原(早)、吉原(俊)

見どころ：遊水地にワクワクの季節が到来！  
谷中湖のカモやカイツブリ、ヨシ原のチュ  
ウヒ、小鳥類。そして、いつもの鉄塔で“あ  
の方”が待っていてくれるでしょうか？

## 戸田市・彩湖探鳥会

期日：12月7日（金）平日

集合：午前9時30分 荒川彩湖公園駐車場  
★集合地が変わりました。これまで鳥合わせ  
をしていた場所になります。

交通：JR 武蔵野線南浦和 8:47→西浦和 8:53  
西浦和駅から集合地まで担当が案内します。

担当：高崎、石塚(敬)、石塚(真)、今村、小林(み)

見どころ：今年も鉄塔の上のノスリ、藪の中  
のベニマシコに会えるかな？ 湖内には

何種のカモやカイツブリが見られるか  
かな？

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月9日（日）

集合：午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。

★集合時刻が10分遅くなりました。

交通：秩父鉄道 熊谷 9:21 発、または寄居 8:59  
発に乗車。

担当：新井、鶴飼、大畑、倉崎、田島、千島、  
飛田、中川、村上(正)、茂木

見どころ：冬本番を迎え大麻生の森も賑やか  
になってきました。冬鳥たち、猛禽たちに  
会いに行きましょう。

## 加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：12月13日（木）平日

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線 花崎駅  
南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または  
午前9時、加須はなさき公園管理事務所前。

交通：東武伊勢崎線 春日部 8:16→久喜 8:29  
→花崎 8:36。または JR 宇都宮線 大宮 7:53  
→久喜 8:15 で東武伊勢崎線乗り換え。

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：長嶋、相原(修)、相原(友)、石川、植  
平、竹山、星野、茂木、渡邊

見どころ：青毛堀川でコガモの飛翔を上から  
観察。緑の翼鏡を楽しみます。園内でシメ  
やジョウビタキ、ツグミなどの冬鳥を探し  
ます。チョウゲンボウのホバリングが見ら  
れたらいいね♪

## さいたま市・岩槻文化公園探鳥会

期日：12月15日（土）

集合：午前9時10分、岩槻文化公園の国道  
16号側駐車場。

交通：東武アーバンパーク線 岩槻駅東口から  
朝日バス 8:43 発しらこぼと水上公園行で  
「村国入口」下車。バス停からご案内しま  
す。

担当：長野、石井(健)、石川、市原、内田、鈴  
木(誠)、鈴木(紀)、鈴木(庸)、長嶋、藤原

見どころ：冬鳥が出揃い、皆さまをお待ちし  
ています。その様子を観察してみませんか。  
トイレが完備された公園内や平坦な元荒

川沿いの道をゆっくり歩いて、野鳥を探しましょう。初心者大歓迎です。  
ご注意：岩槻駅での案内人の出迎えはありません。「村国入口」バス停でお迎えます。

### 『しらこばと』袋づめの会

とき：12月15日（土）午後3時～4時ころ  
会場：会事務局108号室

### さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：12月16日（日）  
集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。  
交通：JR 北浦和駅東口、正面信号を左側から渡り、50m先左手バスターミナルから8:23発東武バス「さいたま市立病院行」で終点下車。  
後援：さいたま市立浦和博物館  
担当：青木、浅見（徹）、楠見、小菅、小林（み）、須崎、新部、畠山  
見どころ：三室探鳥会に出なければ年が越せない！ という方達も多い定例探鳥会。皆さまといっしょに冬鳥を探しましょう。初心者の方大歓迎。ベテラン担当がお待ちしております。

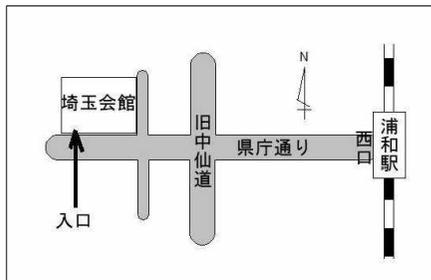
### 滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月16日（日）  
集合：午前9時20分、森林公園南入口前広場。  
交通：東武東上線 森林公園駅北口から熊谷駅南口行きバス 9:00 発で「滑川中学校」下車、歩道橋を渡り少し戻る。  
費用：参加費と入園料大人450円、中学生以下無料、65歳以上210円（要年齢確認）。  
担当：鈴木（秀）、大畑、岡安、佐久間、内藤、中村（豊）、藤掛、藤澤  
見どころ：南口から山田大沼まで歩きます。今年の異常気象は冬鳥の渡りに影響しているでしょうか。通路工事が済んだ山田大沼ではどんな鳥と出会えるでしょうか。解散後昼食、雑談と帰り道の鳥見も期待。

### 年末講演会

日時：12月23日（日・祝）午後1時開場  
会場：埼玉会館2階ラウンジ  
交通：JR 浦和駅西口から県庁通りを西へ徒歩

6分。県庁通り沿いの大きな階段を右に見て通り過ぎ、次の右側、車寄せにある入口からお入りください。



プログラム：第1部 13:30～14:45 会員たちの『映像で振り返るこの1年』他。  
第2部 15:00～16:30 講演 西村眞一氏（中西悟堂研究者＝右写真）  
『日本野鳥の会誕生の秘話』  
第3部 17:15～19:30 懇親会（ワシントンホテル1階「一品菜」にて）。  
参加費：探鳥会と同じ。  
懇親会は5,000円の予定。



見どころ&聞きどころ：今年で創立84年（創立日：1934年3月11日）となった日本野鳥の会が、どのようにして誕生したかを中心に、当時の資料などをパワーポイントで、講演していただきます。また、西村氏所蔵の中西悟堂先生のお宝資料も拝見できます。  
◆第1部の映像・画像を募集中です。あなたの傑作をビデオ、スライドショーは5分程度に編集、スライドは12枚程度でお申し込みください。映像・画像、懇親会の申込みはメールで fukyubu@wbsj-saitama.org まで。（第1部、第2部の参加申し込みは不要です。）

### 幸手市・宇和田公園探鳥会

期日：12月24日（月・振休）  
集合：午前9時20分、宇和田公園駐車場。  
交通：東武伊勢崎線 東武動物公園駅東口から境車庫行き8:45発のバスで「上宇和田」下車。北方向に徒歩5分。  
担当：佐野、植平、佐藤（宏）、竹山、村上（正）  
見どころ：年末最後の探鳥会。今年もシラコバトを探して公園周辺を歩きます。

## 2019年1月～4月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。変更されることもありますので、確定情報は、その月の会誌『しらこぼと』の行事案内でご確認ください。

月	日	曜日	探鳥地など
1	4	金	さいたま市 さぎ山記念公園
	5	土	戸田市 彩湖
	5	土	深谷市 仙元山公園
	6	日	松伏町 まつぶし緑の丘公園
	10	木	久喜市 久喜菖蒲公園 (平日)
	12	土	千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園
	13	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	13	日	さいたま市 民家園周辺 (臨時)
	14	月祝	滑川町 武蔵丘陵森林公園
	14	月祝	春日部市 内牧公園
	19	土	加須市 渡良瀬遊水地
	19	土	群馬県板倉町 渡良瀬遊水地 Young
	20	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	24	木	羽生市 羽生水郷公園 (平日)
	26	土	蓮田市 黒浜沼
	27	日	狭山市 入間川 [定例]
	27	日	長瀨町 長瀨 *
	31	木	戸田市 彩湖 (平日)
	2	2	土
2		土	嵐山町 菅谷館都幾川
3		日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
3		日	北本市 石戸宿 [定例] *
3		日	滑川町 武蔵丘陵森林公園
9		土	さいたま市 大宮市民の森
10		日	熊谷市 大麻生 [定例]
11		月祝	狭山市 智光山公園
14		木	加須市 加須はなさき公園 (平日)
16		土	上尾市 丸山公園
16		土	さいたま市 芝川第一調節池 Young
17		日	さいたま市 三室地区 [定例]
17		日	志木市 柳瀬川 *
21		木	滑川町 武蔵丘陵森林公園 (平日)
23		土	さいたま市 岩槻文化公園 **
24		日	本庄市 坂東大橋
3		2	土
	2	土	戸田市 彩湖
	2	土	千葉県 銚子漁港 (予約)
	3	日	蓮田市 黒浜沼
	3	日	寄居町 玉淀河原
	5	火	滑川町 武蔵丘陵森林公園 (平日)
	9	土	さいたま市 見沼自然公園 (見沼たんぼクリーン大作戦に参戦)

3	9	土	所沢市 狭山湖
	10	日	熊谷市 大麻生 [定例] *
	16	土	栃木県 日光東照宮裏山
	17	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	20	水	羽生市 羽生水郷公園 (平日)
	21	木祝	松伏町 松伏記念公園
	22-23	金-土	東京都 八丈島航路 (予約) Young
	23	土	秩父市 秩父ミュージアムパーク
	24	日	狭山市 入間川 [定例]
	24	日	加須市 渡良瀬遊水地
4	7	日	北本市 石戸宿 [定例]
	7	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	7	日	長瀨町 宝登山
	14	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	20	土	東京都 葛西臨海公園
	20	土	さいたま市 秋ヶ瀬公園 Young
	20	土	栃木県 小倉山森林公園
	21	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	21	日	春日部市 内牧公園
	24	水	さいたま市 秋ヶ瀬公園 (平日)
5	29	月祝	さいたま市 大久保農耕地 (シギ・チドリ類調査)
	5	日祝	茨城県 浮島・小見川 (予約)
	10-12	金-日	東京都 三宅島 (予約)
	18-19	土-日	秩父市 中津川溪谷 (予約)
	25-26	土-日	長野県 戸隠高原 (要予約)

\*印：並行して「ビギナー探鳥会」を開催

\*\*印：並行して「親子探鳥会」を開催

## 「こんな鳥を見たい！」という方へ

日本野鳥の会埼玉ウェブサイトのトップページ左側のメニューの中に「探鳥会出現鳥検索」というのがあります。これは、最近5年間（現在は2013～2017年）の県内探鳥会について“どんな鳥がどこで”出たのかを調べられるデータベースです。あなたの見たい鳥を指定すると、どこの探鳥会で出たのかが即座に判ります。鳥を「科」から指定するのがちょっとマニアックです。なお、名前がない鳥は、出ていないということです。

### 【豆知識：探鳥会等屋外行事の参加者数】

県内の屋外で行われた自然観察会や写真探鳥会なども含めた行事の参加者数累計を会が発足した1984年度から2017年度まで野鳥データベースで調べてみると、三室20,944、大麻生13,555、石戸宿7,724、民家園6,463、渡良瀬遊水地4,823、森林公園4,727、入間川4,310、など総計117,081名でした。



## 行事報告

7月15日(日) さいたま市 三室地区

参加: 31名 天気: 晴

キジバト アオバト コゲラ ハシボソガラス  
ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ  
ヒヨドリ メジロ ムクドリ スズメ カワラヒ  
ワ ホオジロ (14種) 暑さを避けて、見沼代用  
水西縁沿いの木陰の道を往復。木の枝をひたすら  
つつくコゲラ。私たちが警戒する様子を全く見せ  
ない。行く手を横切った1羽のハト。なんとアオ  
バトだった。三室探鳥会初登場!と盛り上がった  
が、調べたら既に記録があった。記憶なんて、偉  
いもの...だからこそ記録が大切! (小林みどり)

7月21日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 12名

相原修一、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、  
大坂幸男、小林みどり、志村佐治、藤掛保司、松  
村禎夫、三ツ矢正安、吉原早苗、吉原俊雄

7月22日(日) 狭山市 入間川

猛暑のため中止。 (長谷部謙二)

7月28日(土) 神奈川県 大磯町 Young

台風接近のため中止。 (廣田純平)

8月5日(日) 北本市 石戸宿

猛暑のため中止。 (吉原俊雄)

8月12日(日) 千葉県習志野市 谷津干潟

参加: 37名 天気: 曇

カルガモ キジバト カワウ アオサギ ダイサ  
ギ コサギ コチドリ キアシシギ イソシギ  
ウミネコ ミサゴ カワセミ ハシボソガラス  
ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ ヒヨド  
リ エナガ メジロ ムクドリ スズメ カワラ  
ヒワ (22種) (番外: ドバト) 熱中症ぎりぎり回  
避で開催できたが、シギ・チドリがいない谷津干  
潟を見ることになってしまった。少ないのか渡り  
が遅いのか分からないが、キアシシギだけはよく

見られたのが救いだった。

(杉本秀樹)

8月18日(土) 千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園

参加: 41名 天気: 晴

キジバト カワウ アオサギ ダイサギ チュウ  
サギ コサギ ダイゼン メダイチドリ ミヤコ  
ドリ オオソリハシシギ キアシシギ キョウジ  
ヨシギ オバシギ ミユビシギ ハマシギ ウミ  
ネコ コアジサシ ミサゴ オオタカ ツバメ  
ヒヨドリ セッカ スズメ ハクセキレイ カワ  
ラヒワ (25種) (番外: ドバト) 猛暑の夏、熱中  
症対策のため暑さ指数で開催するかどうか判断。  
当日は少し暑さが和らいで無事開催できた。海辺  
に出ると潮風が心地よく、富士山もこの時季には  
珍しくははっきり見えた。潮が満ちているので東側  
の堤防へ移動。途中チュウサギ2羽。堤防ではミ  
ユビシギとミヤコドリ、オオソリハシシギなどを  
観察し、潮の引いた干潟へ。メダイチドリ、オバ  
シギが比較的近くで観察できた。 (菱沼一充)

8月18日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 10名

宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、  
大坂幸男、佐久間博文、志村佐治、藤掛保司、吉  
原早苗、吉原俊雄

8月19日(日) さいたま市 三室地区

参加: 43名 天気: 曇

キジ カルガモ キジバト オオタカ コゲラ  
ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ  
ツバメ ヒヨドリ エナガ ムクドリ スズメ  
ハクセキレイ ホオジロ (15種) (番外: ドバト)  
この夏は異常に暑いのが、この日は曇っていたため  
気温はそんなに上がらなかった。出現鳥は15種と  
少ないが、「遠くにいる猛禽はオオタカ? ハヤブ  
サ?」で盛り上がった。結局こちらに飛んできて  
姿をスコープで見るとオオタカと判明した。貴重な  
1種が追加出来てよかった。 (青木正俊)

9月2日(日) リーダー研修会

参加: 35名

埼玉県自然学習センターで開催。午前には、リー  
ダーの心構え等について説明した後、5班に分か  
れて模擬探鳥会を実施した。新リーダーの皆さん  
は、身近な鳥の説明方法や滑りやすく転倒しやす

い道での注意など、ベテランリーダーから数多くの貴重なアドバイスを受けていた。午後は、新リーダーの自己紹介、普及活動に関する意見交換、当会の状況と各部からの報告などが行われた。最後に海老原代表から講評と新リーダーへの腕章貸与が行われ、研修会は無事終了。夕方からは希望者で懇親会を行い、大いに盛り上がった。

新リーダーは、石井健次（蓮田市）、市原あゆみ（川口市）、大林岳史（横浜市）、佐藤久志（狭山市）、村上将之（国立市）の5名（敬称略）。今後の活躍に期待するとともに、探鳥会で激励の言葉をかけて頂ければ幸いである。（長野誠治）

9月8日（土） 神奈川県 大磯町 Ladies'

参加：24名 天気：晴

アオバト オオミズナギドリ ウミネコ トビ ハシブトガラス イソヒヨドリ スズメ（7種）（番外：ドバト） こまたんSさんの解説付きで日差しの強い海岸でも何とか凌ぐことが出来た。当日は丹沢の天気が悪いため、アオバトの大きな群れは来なかったが、10羽～20羽の小さな群れが繰り返し飛来し、楽しませてくれた。また、沖にはオオミズナギドリが舞っていた。イソヒヨドリ♀が最後に顔を出してくれ、出現種がラッキー7となった。（菱沼洋子）

9月15日（土） 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：12名

宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、佐久間博文、志村佐治、藤掛保司、三ツ矢正安、吉原早苗、吉原俊雄

9月16日（日） さいたま市 三室地区

参加：49名 天気：曇

キジバト アオサギ ダイサギ ツツドリ オオタカ サシバ カワセミ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ メジロ ムクドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ（21種）（番外：ドバト） 熱中症情報「注意」なので決行。日が陰ると、涼風に秋の気配。ツクツクボウシと秋の虫の声が混在。前日までの雨で足止めされたのか、サシバ合計10羽が舞い上がり、参加者大興奮。鉄塔にはオオタカが止まり、眼下を睥睨。すごい貫禄・迫力！（浅見 徹）

9月17日（月、祝） タカの渡り調査・中間平

ボランティア：25名

青山美奈子、青山洋介、秋葉芳男、浅村和子、阿部茂雄、新井巖、今村富士子、鶴飼喜雄、大澤祐、小出博、小林みどり、柴田和見、下田恵子、鈴木辰雄、鈴木美智代、関永孝、田島利夫、千葉典子、千葉秀男、富田英紀、富田由香、西久保勝巳、西久保秀子、藤澤洋子、柳川国夫

9月17日（月、祝） シギ・チドリ類調査

ボランティア：13名

秋元不二雄、浅見徹、石井智、海老原教子、海老原美夫、佐久間博文、庄田恭大、庄田泰工、野沢六治、藤田敏恵、山下紀、山下康子、湯本貴光

9月23日（日、祝） 松伏町 松伏記念公園

参加：46名 天気：晴

カイツブリ キジバト カワウ アマサギ アオサギ ダイサギ チュウサギ コサギ タシギ クサシギ タマシギ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ムクドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ（24種）（番外：ドバト） 前半ヤマ場の池にルアーの釣人10+、水鳥0。焦る気持ちで後半の田んぼへ。稲刈りに集まる大・中・小・アマサギたち。スケッチブックに手描きした図で識別を説明。帰路でタシギ30+が飛び立つ。望遠鏡に飛び込んできたのはタマシギ♀！ 一気にハイテンション。胸を張って終了できた。（山部直喜）

9月23日（日、祝） 狭山市 入間川

参加：30名 天気：曇

カルガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ヒメアマツバメ イソシギ オオタカ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ムクドリ イソヒヨドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ（22種）（番外：ドバト） 夏鳥がいなくなり、冬鳥にはまだ早いこの季節。ほぼ留鳥を見る探鳥会となる。かなり高い確率で見られるイカルチドリとホオジロが記録なし。20種が留鳥、夏鳥のツバメ1種、最近よく出るイソヒヨドリはどれに入るのだろうか。（長谷部謙二）



### ●ホームページでタカの渡り速報

2016 年からタカの渡り速報を始め、今年  
は 10 月 6 日が最後の報告で終了しました。  
IT 委員会委員長の佐野和宏は「投稿の翌日  
にはホームページを更新することにした  
ので、少々プレッシャー。それでもうれし  
いのは『このあたりを通過しているはず』  
というところから報告があった時。渡りの  
ルートが見えてきたような気がします。来  
年もやってみようかな」とのこと。情報提  
供ありがとうございます。

当会ホームページの「タカの渡り観察記  
録」と、今月号特集記事をご覧ください。

### ●会員の活動

- 1, さいたま市立土合公民館から依頼があ  
り、当会幹事の石塚敬二郎が担当して協  
議を重ね、11 月 26 日(月)秋ヶ瀬公園、  
12 月 17 日(月)見沼自然公園など、1 月  
20 日(日)芝川第一調節池、2 月 18 日(月)  
彩湖の 4 回、野鳥観察講座が開かれるこ  
とになりました。
- 2, 飯能市立博物館から野鳥観察会の指導  
依頼があり、当会幹事の石光章が担当す  
ることになって、協議を始めました。

### ●ごめんなさいコーナー

- 1, 前号 3 ページ「最後に」の次「コノハ  
ズク」は「オオコノハズク」、その 3 行  
下「以外に」は「意外に」の誤りでした。
- 2, 同 7 ページ、大麻生探鳥会の交通案内、  
秩父鉄道の時刻表は変更になっていま

した。新時刻表に基づき、今月号から集  
合時間を変更しました。

- 3, 同 10 ページ戸隠探鳥会鳥名リストの  
読点「、」を削除し忘れました。

### ●会員数は

11 月 1 日現在 1, 602 人です。

## 活動と予定

### ●10 月の活動

10 月 12 日(金) 見沼さぎ山交流ひろば今年  
度第 3 回運営会議(さぎ山記念館)に出  
席。シーズン企画の報告と計画・みぬま  
秋フェス・写真コンクール審査など(小  
林みどり)。

10 月 13 日(土) 11 月号校正作業(海老原  
教子、海老原美夫、小林みどり、佐久間  
博文、志村佐治、藤掛保司、長嶋宏之)。

10 月 21 日(日) 役員会(司会：浅見徹、各  
部の報告・1-4 月行事予定、年末講演  
会など)。

10 月 22 日(月) 『野鳥』誌と同封発送しな  
い会員向け、『しらこぼと』11 月号を郵  
便局から発送(海老原美夫、山部直喜)。

### ●12 月の予定

- 12 月 1 日(土) 普及部会。編集部会。
- 12 月 8 日(土) 1 月号校正(午後 4 時から)。
- 12 月 15 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。
- 12 月 16 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

## 編集後記

「ごめんなさいコーナー」が多すぎまし  
た。本当に申し訳ありません。それぞれの  
原因を確認して、「ごめんなさいコーナー」  
絶滅を目指します。(海老原)

しらこぼと 2018 年 12 月号(第 417 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町  
 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
 郵便振替 00190-3-121130 URL <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 [office@wbsj-saitama.org](mailto:office@wbsj-saitama.org)  
 編集部への原稿 [yamabezuku@wbsj-saitama.org](mailto:yamabezuku@wbsj-saitama.org) 編集部への野鳥情報 [toridayori@wbsj-saitama.org](mailto:toridayori@wbsj-saitama.org)  
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル  
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 [gyomu@wbsj.org](mailto:gyomu@wbsj.org)  
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断  
 転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社